令和元年度 広島県病害虫発生予察情報
予報第３号（水稲）

令和元年７月９日発表
広島県西部農業技術指導所
対象期間　令和元年７月中旬 ～７月下旬

1		予報内容（７月下旬まで）		
病害虫名		現　況	予　報	防除上の注意事項
葉いもち ※中北部とは中東部，中西部及び北部	中北部※	少	並	◇中国地方１か月予報では，今後発生に好適な気象条件となっている。 ◇育苗箱施用剤を処理したほ場でも，発生に注意してほ場の見回りを行う。 ◇いもち病に弱い品種（あきさかり，恋の予感など）では特に注意する。 ◇発生が見られたほ場では，速やかに防除する。 ◇穂ばらみ期の防除を徹底し，穂いもちの発生を予防する。
	南部	並	並	
紋枯病		並 （発生なし）	並	◇昨年，発生が多かったほ場では特に注意する。 ◇病原菌は気温 22℃以上で稲へ侵入するため，気温の上昇と共に発病株率が増加するので注意する。 ◆要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が，早生品種で 10%以上，中生品種で 20%以上。
セジロウンカ		並	並	◇穂ばらみ期の防除を徹底する。 ◇インディカ種の血統を持つ品種（たちすずか，たちあやかなど）では，セジロウンカが増殖しやすいため，特に発生に注意する。 ◆要防除水準：幼穂形成期から穂ばらみ期に１０頭/株以上。
斑点米カメムシ類	中北部※	並	やや多	◇出穂期近くになってからの畦畔などの除草は，カメムシ類を水田内に追い込むことになる。出穂２週間前までに除草は完了させる。 ◇早生品種では，本年は出穂が早いと予想されるため防除時期を逸しないようにする。 ◆防除時期：カスミカメムシ類主体の場合，出穂期と出穂期～出穂10日後の間で合計２回，ホソハリカメムシ等のその他加害種主体の場合，出穂７～14日後の間で合計２回防除を行う。

○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは，広島県ホームページで閲覧できます。

広島県　植物防疫　検索　または

○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
（東広島市八本松町原 6869　Tel：082-420-9662）

2　予報の根拠（現況調査：7月１日～4日，２６地点調査）

（１）葉いもち

◆予報（中北部：並，南部：並）

◆現況調査結果（中北部：少，南部：並）

	中北部			南部		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率(%)	0	16.7	4.8	0	2.8	0
平均発生程度	1.00	1.03	1.00	1.00	1.00	1.00

◆気象条件：中国地方１か月予報によると，気温は低い確率 50%，降水量は平年並，多いともに確率 40%，日照時間は少ない，平年並 40%と予報されており発生に好適である。

◆ＢＬＡＳＴＡＭ（いもち病感染好適日判定モデル）による感染好適日は，過去１０年の中で低い頻度で推移している。

（２）セジロウンカ

◆予報（並）

◆現況調査結果（並）

	本年	平年	前年
発生地点率(%)	38.5	48.2	26.9
平均発生程度	1.06	1.14	1.02

【予察灯（呉市安浦町）での７月４日までの誘殺累計】本年４頭，平年 13.6 頭，前年０頭。

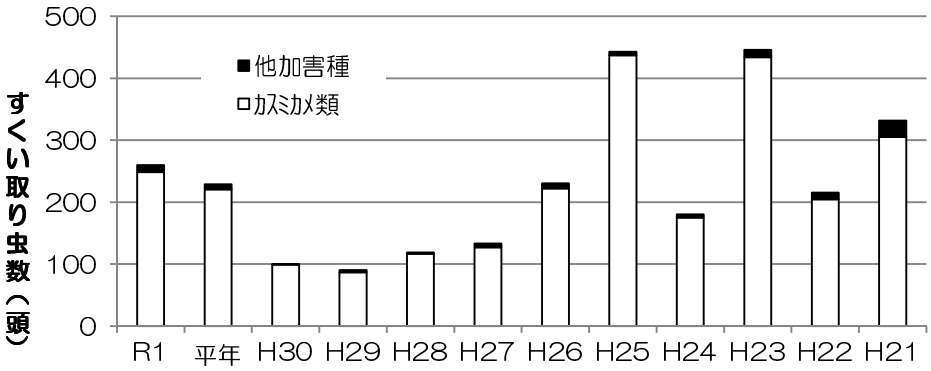
◆気象条件：中国地方１か月予報によると，気温は低い確率 50%，降水量は平年並から多いともに確率４０%と予報されている。

（３）斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類，その他加害種）

◆予報（中北部：やや多）

◆現況調査結果（中北部：並）

すくい取り虫数（頭）	本年	平年	前年
カスミカメムシ類	248.4	**220.7**	99.3
その他加害種	11.4	**8.1**	0.7



６月下旬における牧草地すくいとり調査結果（H26 年以前は７月上旬調査）
※発生頭数は捕虫網による牧草地での 20 回振りすくいとり調査による

◆気象条件：中国地方１か月予報によると，気温は低い確率 50%，降水量は平年並，多いともに確率 40%と予報されている。

「予報」「現況」は，「多～少」の５階級に区分して発表しています。区分の方法は，原則として，過去１０年の数値を発生が多かった順に並べて，相対比較しています。

「多」　：　１番目（最多年）と同程度以上
「やや多」　：　２～３番目と同程度
「平年並」　：　４～７番目と同程度
「やや少」　：　８～９番目と同程度
「少」　：　１０番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多		並				やや少		少
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

３　その他の病害虫の発生状況（現況調査：７月１日～４日，２６地点調査）

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
ヒメトビウンカ	並	縞葉枯病を発病した株は抜き取る。
フタオビコヤガ（イネアオムシ）	やや少	穂ばらみ期防除を基本とする。
トビイロウンカ	並（発生なし）	巡回調査では発生は認められなかった。今後の情報に注意する。
コブノメイガ	並（発生なし）	被害株率２０%以上の場合防除を行う。

４　気象情報

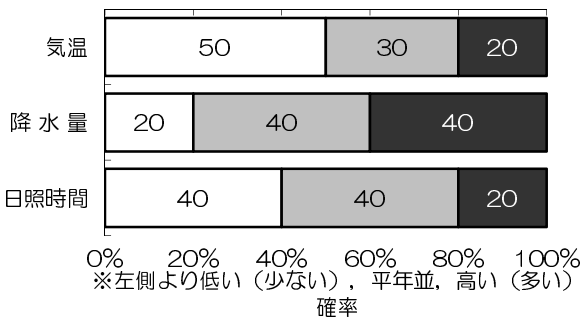
中国地方１か月予報（広島地方気象台７月４日発表，７月６日から８月５日までの天候見通し）

寒気の影響を受け、１週目、２週目の気温は低いでしょう。向こう１か月を平均した気温も低い見込みです。

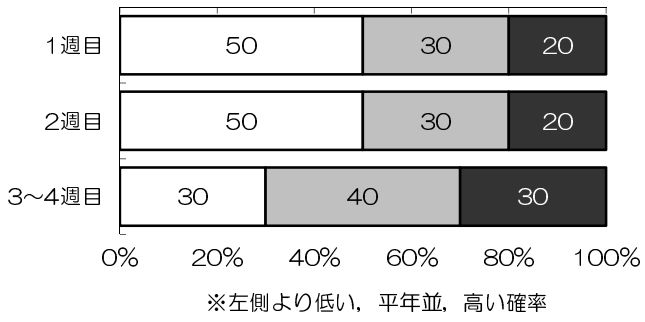
期間の前半は、前線や湿った空気の影響を受けやすいでしょう。このため、向こう１か月を通した降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです

向こう１か月の平均気温は，低い確率５０%です。降水量は，平年並か多い確率ともに４０%です。日照時間は，平年並か少ない確率ともに４０%です。

□ 向こう１か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)



□ 向こう１か月の気温経過の各階級の確率(%)



６月１日から８月３１日まで，**農薬危害防止運動**実施中！

農薬を使う際は，容器のラベルをよく読んで，使用方法や注意事項を守り，農薬による危害と事故を防ぎましょう。